

大会公式ページ記載 Ikebun 紹介プロフィール(原文)

イケブンは、121 年の歴史を誇る日本を代表する花火会社の一つです。

花火の伝統が根付く静岡地域に本拠を構え、職人技と最新技術を融合させた圧巻の花火ショーを創り出しています。

また、昨今では花火だけにとどまらず、サムライの演武や和太鼓などの様々な演出ツールとコラボレーションしてこれまでにないエンタテインメントを創造しています。

イケブンは、これまで日本国内の名だたる花火競技会で高い評価を受けてきました。2015 年には、日本最高峰の花火競技大会「大曲(おおまがり)の花火」において、内閣総理大臣賞を受賞。また、日本最大の観客数を誇る、東京の伝統ある隅田川花火大会でも幾度となく優勝を果たしています。

今回、私たちがカンヌ花火芸術祭に参加するのは、静岡市とカンヌ市が 30 年以上の姉妹都市関係を築いていることに由来します。

静岡市は、日本で初めて花火が鑑賞された地として伝えられており、また、花火製造の中心地の一つとして栄えてきました。そして、この観賞花火が導入された日本の江戸時代、つまり 17 世紀以降、初代将軍徳川家康公が統治をしていた時代に、静岡では火薬の製造が許可され、花火づくりの技術が発展しました。

この歴史と文化は今も静岡に引き継がれ、静岡県域では数多くの花火大会が開催されています。中でも、「清水みなと祭り海上花火大会」は静岡市の夏を代表する伝統的な祭りの1つであり、イケブンはこの海上花火大会を毎年プロデュースしています。

今回、姉妹都市カンヌの海上で、皆様にもこの清水みなと祭りを、日本を代表する技術とともにお届けしたいと思います。。

日本では、漢字で花火を「火の花(Hanabi)」と表現します。また、この花は平和のシンボルでもあります。このカンヌ芸術祭への参加を通じて、日本の大輪を皆様にお楽しみいただくとともに、この花が静岡とカンヌ、日本とフランス、そして世界の平和の架け橋になることを願っています。

今回、私たちはカンヌで「共鳴し合う音: Sounds of Resonance」を披露します。伝統と革新を融合させた唯一無二の花火で、カンヌの皆様を魅了したいと思います。